

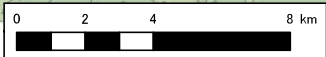
**八ヶ岳中信高原国定公園 踏査結果**  
1:150,000



**エリアA**  
国道やロープウェイを利用した、子供から中高年まで初心者レベルの登山道であり、ハイキングコースも多く、ファミリー登山対象のエリアである。

**エリアB**  
赤岳を代表とした険しい3,000mクラスの山容で、冬の岩稜歩き・氷瀑登り等を含めた上級者レベルである。東京からのアクセスが良く、人気のある山域である。

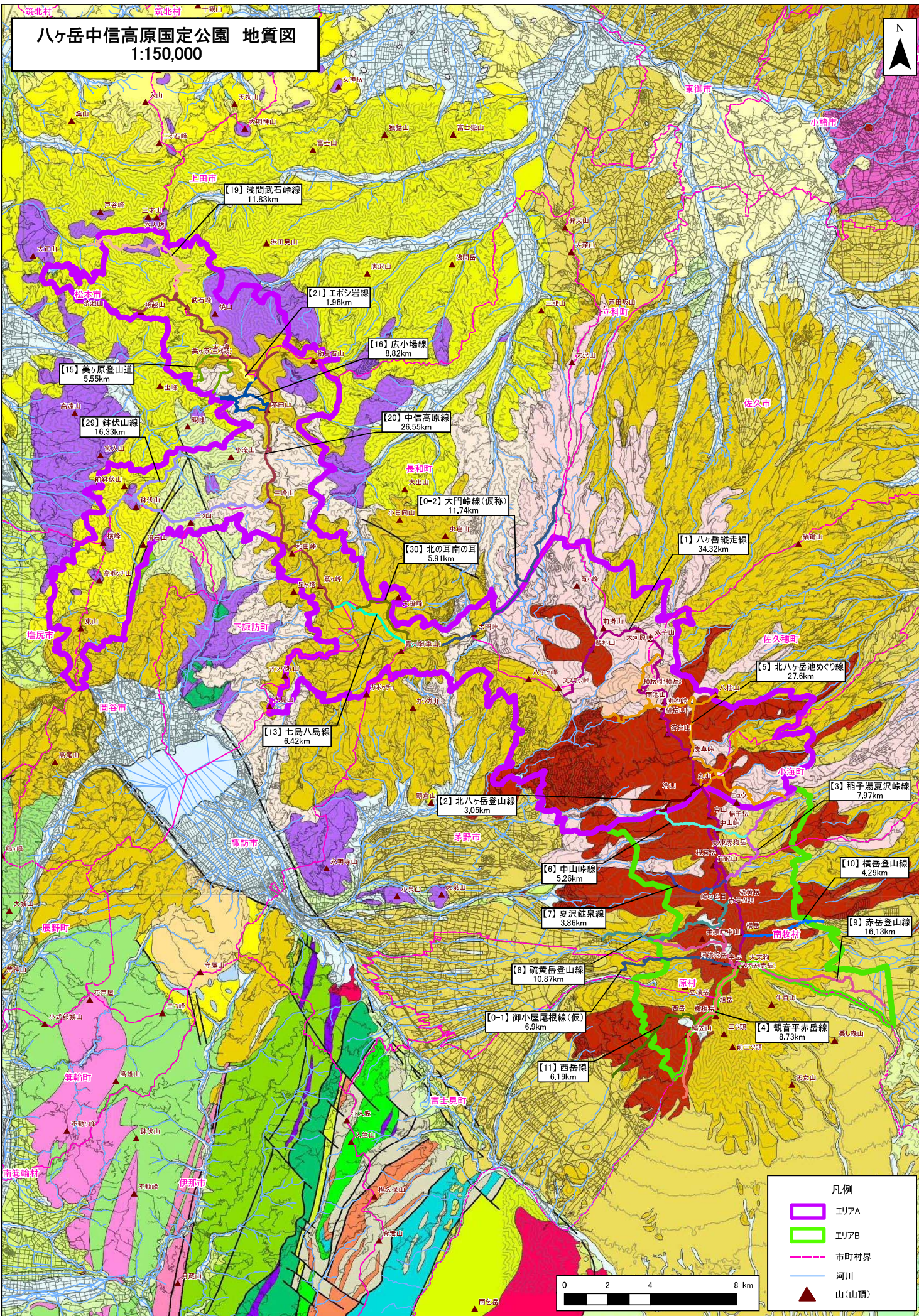
- 凡例**
- エリアA
  - エリアB
  - 施設問題箇所
  - 環境問題箇所
  - 市町村界
  - 河川
  - ▲ 山(山頂)



公園区分 - 国定

公園名 - 八ヶ岳 中信高原

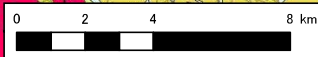
ゾーン	エリア A - 北部 麦草峠、中山以北	エリア B - 南部
地形・地質	主に更新世の新しい火山噴出物からなる、なだらかな山容。	新しい火山岩（安山岩、玄武岩）。赤岳を代表とした険しいアルペン的な3000mクラスの山容。
植生・自然	原生林の苔むした森、散在する湖、高山植物等を求めてハイキング、トレッキングの対象である。	ウルップ草、キバナシャクナゲ、ツクモ草、コマクサ等の高山植物が稀少価値である。
登山レベル	子供から中高年まで初心者レベル、ファミリー登山の対象。	冬の岩稜歩き、氷瀑登り等を含めて上級レベル。
施設整備状況 (トイレ、山小屋、道標)	営業小屋が多く、利便性が高い。	営業小屋が多く、利便性が高い。登山道の整備はよい。
その他	国道やロープウェイを利用したコースが人気である。	東京からのアクセスが良く、人気の山域である。



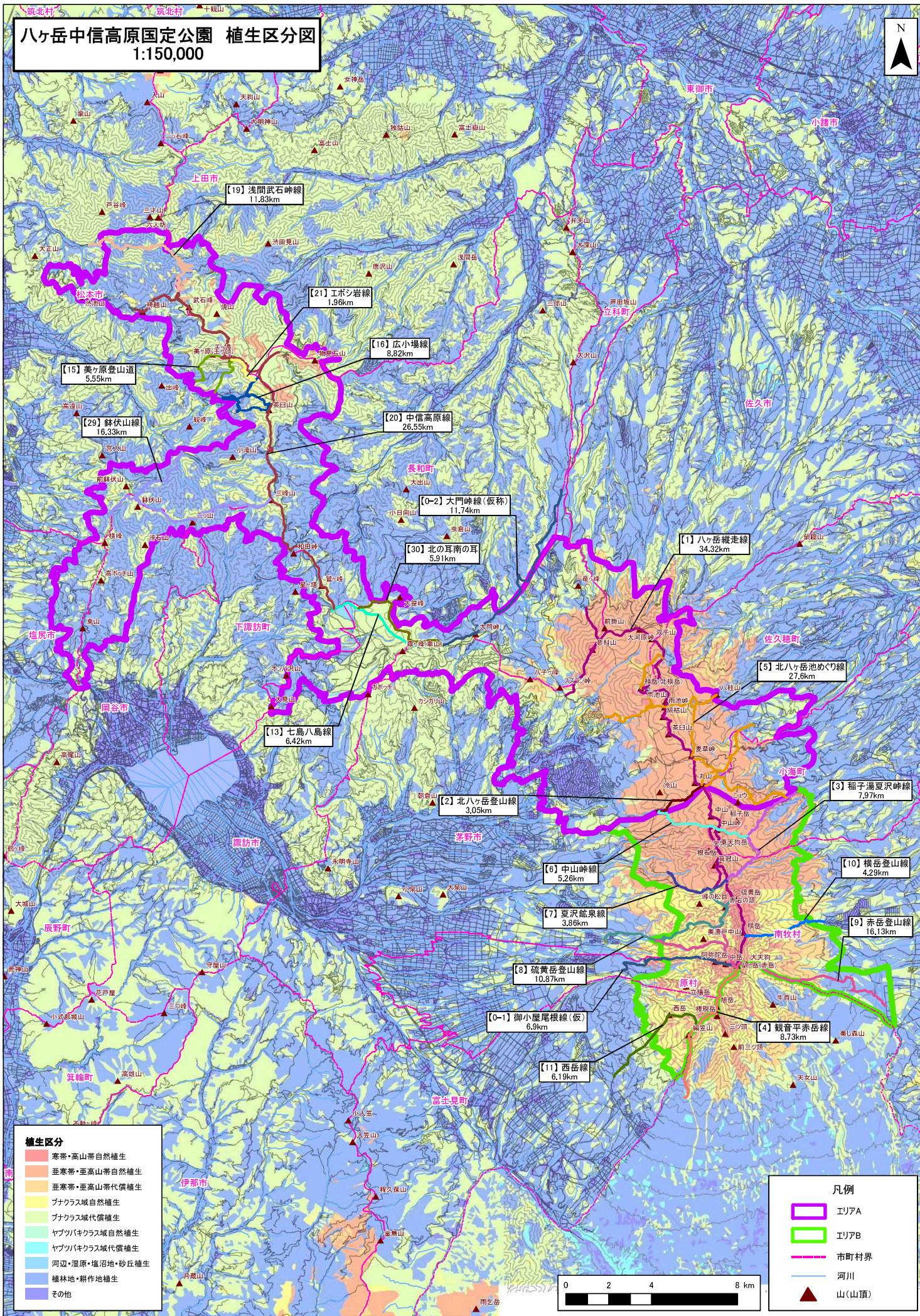
**八ヶ岳中信高原国定公園 地質図**  
1:150,000



- 凡例
- エリアA
  - エリアB
  - 市町村界
  - 河川
  - 山(山頂)



**八ヶ岳中信高原国定公園 植生区分図**  
1:150,000

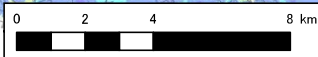


**植生区分**

寒帯・高山帯自然植生
亜寒帯・亜高山帯自然植生
亜寒帯・亜高山帯代償植生
フナクラス域自然植生
フナクラス域代償植生
ヤブツバキクラス域自然植生
ヤブツバキクラス域代償植生
河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生
植林地・耕作地植生
その他

**凡例**

エリアA
エリアB
市町村界
河川
山(山頂)



- [19] 浅間武石峠線 11.83km
- [21] エボシ岩線 1.96km
- [16] 広小場線 8.82km
- [15] 美ヶ原登山道 5.55km
- [20] 中信高原線 26.53km
- [29] 鉢伏山線 16.33km
- [0-2] 大門峠線(仮称) 11.74km
- [30] 北の耳南の耳 5.91km
- [1] 八ヶ岳縦走線 34.32km
- [5] 北八ヶ岳池めぐり線 27.6km
- [13] 七島八島線 6.42km
- [2] 北八ヶ岳登山線 3.05km
- [3] 稲子湯夏沢峠線 7.97km
- [6] 中山峠線 5.26km
- [10] 横岳登山線 4.29km
- [7] 夏沢鉱泉線 3.86km
- [9] 赤岳登山線 16.13km
- [8] 硫黄岳登山線 10.87km
- [0-1] 御小屋尾根線(仮) 6.9km
- [4] 観音平赤岳線 8.73km
- [11] 西岳線 6.19km